

すぐすぐ元気な6年生



R8.1
常滑東小 保健室

1月19日に薬物乱用防止教室がありました。

以前まではけいさつの方から違法薬物を中心にお話ししてもらっていましたが、みなさんには

「薬物の乱用はどうしていけないのか・体にどんな影響がでてしまうのか」を

理解してもらいたくて薬剤師さんにお話を聞いていただきました。

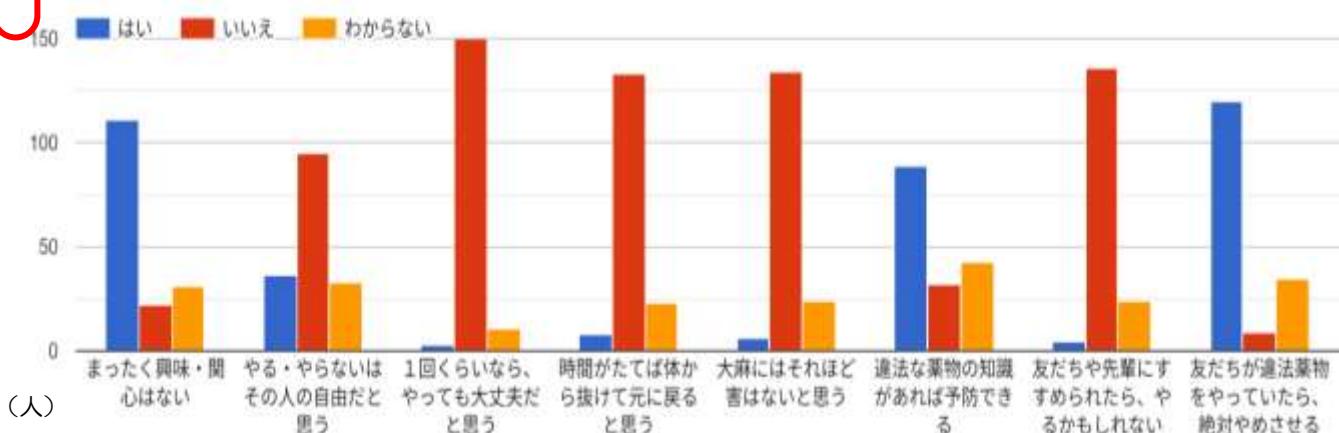
将来みなさんが正しい判断ができるように、覚えておいてほしい内容でした。

アンケートの結果とともに振り返ってみましょう。

そして、おうちの人とお話の内容について話し合う機会になればよいと思っています。



違法薬物について、どのように考えていますか



ほとんどの人が、「違法薬物はやってはいけないもの」と分かっていました。

話を聞いて思ったこと・心に残ったこと

- ・薬物を表す絵文字や、かくし用語（隠語）があるのを知っておどろいた。
- ・市販の薬でも使い方をまちがえると薬物乱用になることが分かった。
- ・すごく自分のためになったし、知識を得た今なら、誘われても友人などのために止めることができると思う。
- ・やってはいけないのは自分のためだと分かった。
- ・脳に影響が出てしまい、元に戻らないのはゾッとした。

お話のまとめ・おさらい

やくぶつらんよう
薬物乱用とは・・・

- いほう 違法な薬物（覚醒剤、大麻、危険ドラッグなど）：1回でも使ったら乱用。
- い やくひん 医薬品（おくすり）でも：ルール（用法用量）を守らなければ薬物乱用。

守らないと・・・



からだ・脳にダメージ！

友達や家族など大切な人を傷つけてしまうかも・・・

自分だけの問題ではない！

だから・・・誘われるようなことがあってもキッパリ断ろう。

キッパリ断る時に思い出して！

- これまでのうれしかったことや樂しきったことを思い出そう。
- 自分が心から「やりたい」と思うことを考えよう。
- 自分を大切にすることは、あなたを大切に思っている人達の幸せにもつながっているんだよ。

自分を大切にしよう

自分で自分を守ろう



一人で悩まずに身近な人に相談しよう

講師の山口先生より

名古屋市学校薬剤師会 理事
山口 一丸（やまぐち いちまる）先生

違法な薬物はやってもいけないし、持っているだけでも、罰せられる、ということは保健の授業やニュースなどを見て知っていると思います。なので、怖がらせるのではなく自分の体はどうなってしまうのか、なぜいけないのかを理解してほしいと思いました。

これから成長していく中で、嫌なことがあったり、何もかも投げ出したくなることもあるかもしれません。しかし、薬は、健康になるためのものです。自分が自分でなくなるような使い方はしないでください。

真剣に話を聞いてくれてうれしかったです。



かつやく 保健委員さんも活躍してくれました。ありがとうございました

